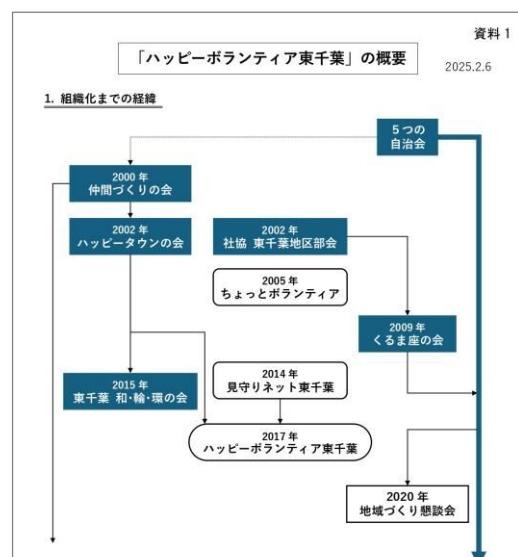


令和6年度 千葉市生活支援コーディネーター 中央区 第1層協議体

1 概要	2 目的
<p>日 時 令和7年2月6日 15:00～17:00 場 所 千葉市中央区中央4-5-1 中央保健福祉センター テーマ 地域のささえあい活動（生活支援）、 高齢者のごみ出しについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のささえあい活動（生活支援）の事例共有 ・高齢者のごみ出しに関する情報や意見交換 ・出席者同士のネットワークの構築
3 参加団体	
<p>東千葉地区部会 ハッピーボランティア東千葉、高齢福祉課、中央区高齢障害支援課、 中央区地域づくり支援課、社会福祉協議会、地域包括ケア推進課、 中央区第2層生活支援コーディネーター、中央区第1層生活支援コーディネーター（8団体、16名）</p>	
4 協議体設置に至った経緯	
<p>交流の場・通いの場と比較して、生活支援（買い物支援、移動支援、ごみ出し支援など）の活動の立ち上げや継続に難しさを感じていた。とりわけ、ごみ出し支援については活動が朝の時間帯に限られるため、調整が難しい。</p> <p>このような現状から、住民主体によるごみ出し支援などのささえあい活動の取組事例を共有することにより、生活支援の活動の充実を推進するヒントを得ることができるものと考え、協議体の設置に至った。</p>	
5 内容	
<p>■事例共有 「東千葉地区部会 ハッピーボランティア東千葉」</p> <p>地域のささえあい活動として生活支援を実践している東千葉地区部会 ハッピーボランティア東千葉（通称：ハピボラ）の会長ならびにコーディネーターを招き、活動の成り立ちから現状、今後の展望などについて説明を受けた。さらに、質疑応答を通して地域のささえあい活動について関係者間で理解を深めた。</p> <p>■情報交換 「高齢者のごみ出し」</p> <p>事例をふまえ、グループに分かれて情報交換を行った。情報提供者への質問も多く、活発な情報交換となった。経験に基づく実践者の言葉は現実的で分かりやすく、説得力があった。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>東千葉地区部会 ハッピーボランティア 今後の展望・課題</p> <p>相談窓口機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政、企業、他団体のサービスの情報収集 ・地域内の人材発掘 <p>孤立化の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の提供 ・家族以外の方との会話 ・外出の機会 </div>	
<div style="text-align: right;">  <p>「ハッピーボランティア東千葉」の概要 2025.2.6</p> <p>1. 組織化までの経緯</p> <p>5つの自治会</p> <p>2000年 仲間づくりの会 → 2002年 ハッピータウンの会 → 2005年 ちょっとボランティア → 2009年 くるま座の会 → 2014年 見守りネット東千葉 → 2017年 ハッピーボランティア東千葉 → 2020年 地域づくり懇談会</p> </div>	

6 結果

■ 情報交換

- ・ ささえあい活動の基盤として、若いうちから地域に出てつながりを持つことが大切である。
- ・ ささえあい活動の運営について助言してくれる人が地域にいたため、広い視野が育つ環境があったことは幸運だった。
- ・ 依頼者に対して直接支援することが得意な人、調整やネットワークの構築が得意な人など、地域には様々な人たちがいる。それぞれの強みを活かすことで、無理せず活動できる。
- ・ 住民同士マナーを守って、適切にささえあい活動を利用していることが伺える。
- ・ 活動時の困りごとはひとりで抱え込まず、情報を共有して解決を図っている。
- ・ 身近に相談できる人がいることは心強い。今後、相談窓口機能がさらに重要になる。



■ 参加者アンケート結果（要約）

- ・ 事例共有や情報交換に対して、回答者から非常に高い評価を得た。
- ・ ハッピーボランティア東千葉の活動や情報提供者の熱意に感銘を受けるとともに、他の地域でも参考にできるモデル事例であるという回答があった。
- ・ 地域ささえあい活動を長く続けるヒントや、高齢者のごみ出し支援に対する地域と行政の連携の重要性について改めて学びがあったことが分かった。
- ・ 時間が足りない、もっと情報交換をしたかったという意見があった。

7 今後に向けて

今回の協議体を通じて、地域のささえあい活動における具体的な事例や課題を共有するとともに、今後の活動の参考となる意見が多く出された。特に、地域のささえあい活動組織化の背景から経緯にもしっかりと焦点を当てたことにより、地域のつながりの重要性を再認識することができた。今回の協議で得られた知見を活かし、地域のささえあい活動をさらに推進していくため、以下の点を重視するとともに、取り組みを可視化・発信する。

- ① 気軽に相談できる緩やかなつながりづくり（身近な地域の居場所やオンラインの活用など）
- ② ささえあい活動を通した主体的な社会参加の推進（役割や生きがいの啓発や意識化）
- ③ 地域住民のニーズに応じた多様な支援活動の展開
- ④ 無理なく活動を継続するための支援
- ⑤ 多様な機関・団体との連携強化

8 担当

中央区 第1層生活支援コーディネーター

【TEL】 070-3105-8246

【所在地】 〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-10-20
特別養護老人ホーム 新千葉一倫荘内

千葉市生活支援コーディネーター



千葉市
ホームページ

